



～あいさつの響き合う家庭・学校・地域づくり～

地域が一丸となって

～夏休み子ども防災合宿（渡公民館）～

渡 OYAJI の会、食改、消防団、民生児童委員など様々な団体の協力により、今年初めて「子ども防災合宿」が行われました。一日目は消火訓練、防災クッキング、暗闇歩行体験などを行い、自分たちで組み立てた段ボールベッドで寝ました。二日目の朝、「普段は、朝はあまり食べられない。」と言っていた児童も蒸しパンを食べた後、わかめご飯もしっかり食べていました。遠くに出かけるレジャーもいいけど、地域でしかできない体験活動に参加するのもいいですね。何よりも大人の皆さんの方が、やりきった顔をしておられたのが印象的でした。



一日目：ボランティアの三中生徒も訓練に参加



二日目：ラジオ体操をしてからの朝食は美味しい～

みんなで一緒に

～たんけん・はっけん境港（外江公民館）～

外江小児童20人、サポーター（三中生、高校生、大学生、地域の方）10人でハマループバスに乗ってみなとテラスに行きました。児童は、普段はあまり関わることのないお兄さん、お姉さんと一緒に一日を過ごしました。

「お兄さん、お姉さんと鬼ごっこをして楽しかった。」「みんなで一緒にお弁当を食べて楽しかった。」など、関わってくれた人と一緒に何かできたことが楽しかったと児童が感想を言ってくれました。子どもたちにとっては、どんな活動でも「みんなで」「一緒に」が楽しくて大切なことなんだということを大人が学んだ一日でした。



高校生も一緒にハマループバスの乗り方を調べました。



市民図書館でミッションに挑戦。三中生がサポート



帰省中の大学生もサポーターとして参加してくれました。



小学生、三中生、高校生、大学生、みんなで鬼ごっこ

夏休みこそ地域の出番！と渡、外江ではあちらこちらで楽しい企画がたくさん行われました。「参加させたいけどなかなか都合が合わなくて」とか、「こんな体験があったら」など、ご意見がありましたらお聞かせください。また、参加されたご家庭の感想なども教えていただくと嬉しいです。

文責：高梨 典子（地域学校コーディネーター）



ファインドル教室（外江公民館）

姉弟参加、親子参加、学校は違うけどお友達参加など